

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

**BALL NAME : SUMMIT ASCENT**  
**COLOR : AQUA/SMOKE/SHADOW**  
**COVER STOCK : R2S™ SOLID REACTIVE**  
**RG : 2.46(MED/15P) ΔRG : 0.056 (MID/15P)**  
**FACTORYFINISH : 4000GritABRALON**  
**TRACKFLAREPOTENTIAL : 5 -6(HIGH)**  
**BACK END : 18 LENGTH : 15 (1-20)**

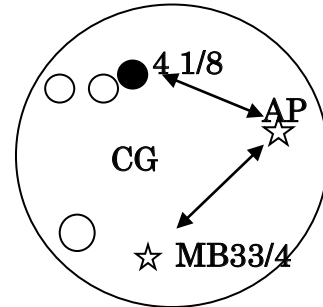
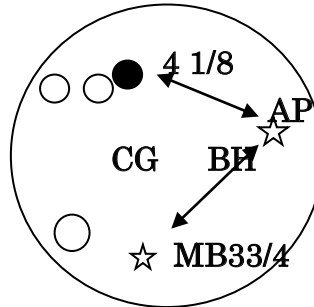


2024年4月16日

レイアウト例

SUMMIT ASCENT

SUMMIT



O	LONG		○	
I	MEDIUM		●	○
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

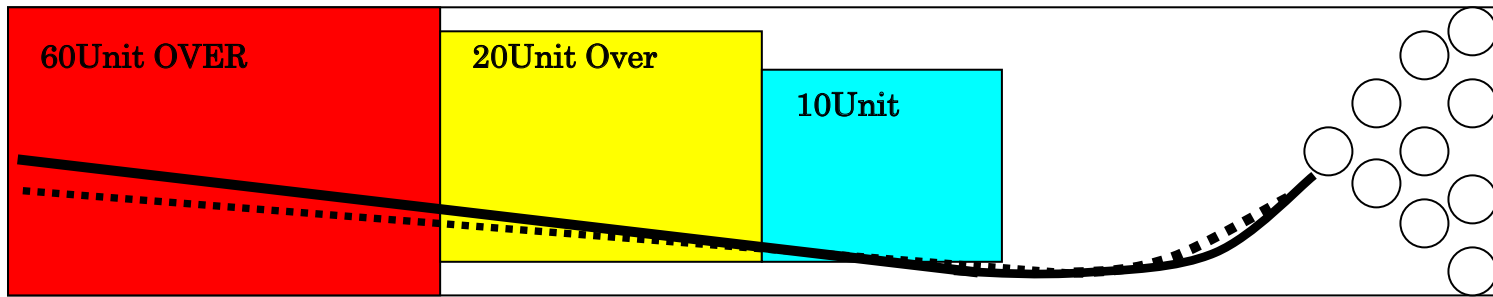
CA55度/PSA2

CA55度/PSA2

【MEDIUM OIL 編】

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 7/8 ・ 間隔 1/4

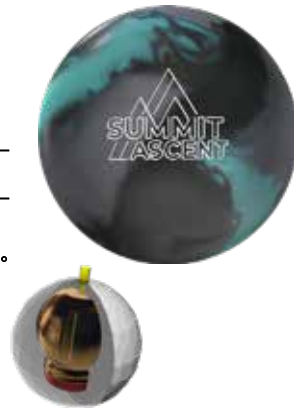


OF 15F 35F 40F  
 比較品ライン SUMMIT ASCENT SUMMIT

【レーン状況】 アンボイでのドレッシングに手前スプレーにてオイル増量をしています、バックエンドは手拭きのクリーニングを行っています。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○					△	



\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

世界発売 ASCENT は初代サミットを継承している動きで、レーン手前から中盤の早めのロールは継続性が高くなり、この表面でもピン前で切れさえ感じられる程動きにメリハリがあります

【ここがポイント】



A-Iテクノロジーはボウリング界の常識を覆す事を目指し、回転数の少ない方でもピン前での角度の無い曲がりでも強い衝撃度をピンに与えピンアクションの向上を演出します。対称コアでは密度の高い素材を用いて比重が重くなり 14-16P も慣性数値は同一化が出来ます。これによりインナーコアの継続性の有る転がりを演出するのでパワーロスを極限まで減少する事が可能になります。今回も初代 SUMMIT に動きは似ていますが、手前の更なるスムーズ差がありロールに入るのが早いのですが軸移動も急激ではない事でコントロール性においては抜群の性能を発揮します。もちろん AI 採用の製品の最大特徴であるピンへの強い衝撃はストローカーに無かったメッセンジャーが出る程弾きが良いですね。ボールバランスがとても良い製品です。

発売予定：2024年8月中旬

石原 章夫プロ【株式会社スポーツ専属プロモーター】 テスト協力センター：アイビーボウル向島